

事業名称	地域資源の発掘及び磨き上げによる地域経済の活性化		
寄附目標額	7,000千円	古河市総合計画の位置付け	4 - 1 - 2
事業区分	地域の特性を活かした、仕事をつくる事業		
関連するSDGs			
			
現在抱えている課題	<p>近年、古河市に限らず事業主の高齢化などを理由とした休廃業が相次いでいる。今後も事業者数の減少が見込まれており、これによる経済的損失が懸念されている。経済の維持、ひいては成長を目指すためには、新たな創業や事業承継が求められている。古河市においては特に、周辺住民のお買い物や食事の場所として欠かせないライフラインとなっている商店街について、空き店舗が目立ってきており、これに伴いまちなかの賑わいが不足し、人流が減少している。</p>		
プロジェクトの概要及びポイント	<p>①空き店舗の実態調査による古河駅周辺空き店舗利活用への検討 古河駅周辺及び市内5つの商店街における空き店舗を調査し、貸し出しできる店舗の把握を行い、報告書を作成する。また、酒井蔵・富岡蔵を含めた古河駅周辺施設の利活用を検討するワークショップなどを行い、施設利用の方向性を検討する。</p> <p>②創業・事業承継に関する機運醸成のためのセミナー等を開催 創業や事業承継をテーマに講師を招き、市民を対象にセミナー等を開催する。また、参加者へアンケートを実施しニーズを探り、今後の事業展開を検討する。</p>		
目指す将来像	<p>商店街だけでなく、市内全域の商業の活性化を図り、事業所数を維持しつつ、消費者ニーズに対応した魅力的な新規出店を促進することで、若者の市外への流出抑制を図る。同時に、人口を維持していくためには、魅力的な雇用と働きやすい労働環境の創出が不可欠であるため、関係機関と連携し労働環境の向上に取り組むことで、すべての勤労者が安心・安全に働くことができる地域となることを目指す。</p>		
事業担当課	産業戦略課		